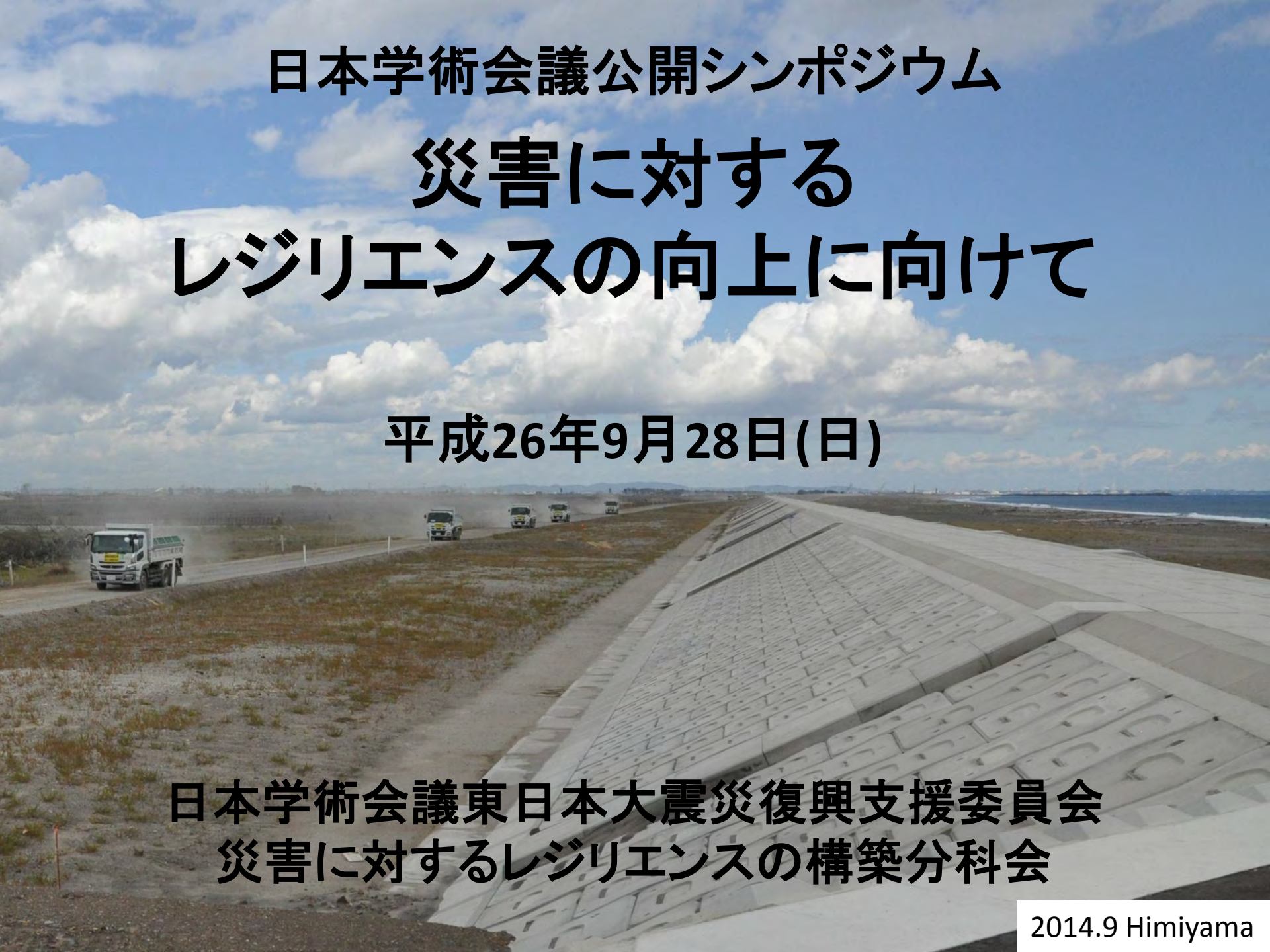




日本学術会議公開シンポジウム 災害に対する レジリエンスの向上に向けて

平成26年9月28日(日)

日本学術会議東日本大震災復興支援委員会
災害に対するレジリエンスの構築分科会

提 言

災害に対するレジリエンスの向上に向けて

平成26年（2014年）9月22日

日本学術会議

東日本大震災復興支援委員会

災害に対するレジリエンスの構築分科会



背景

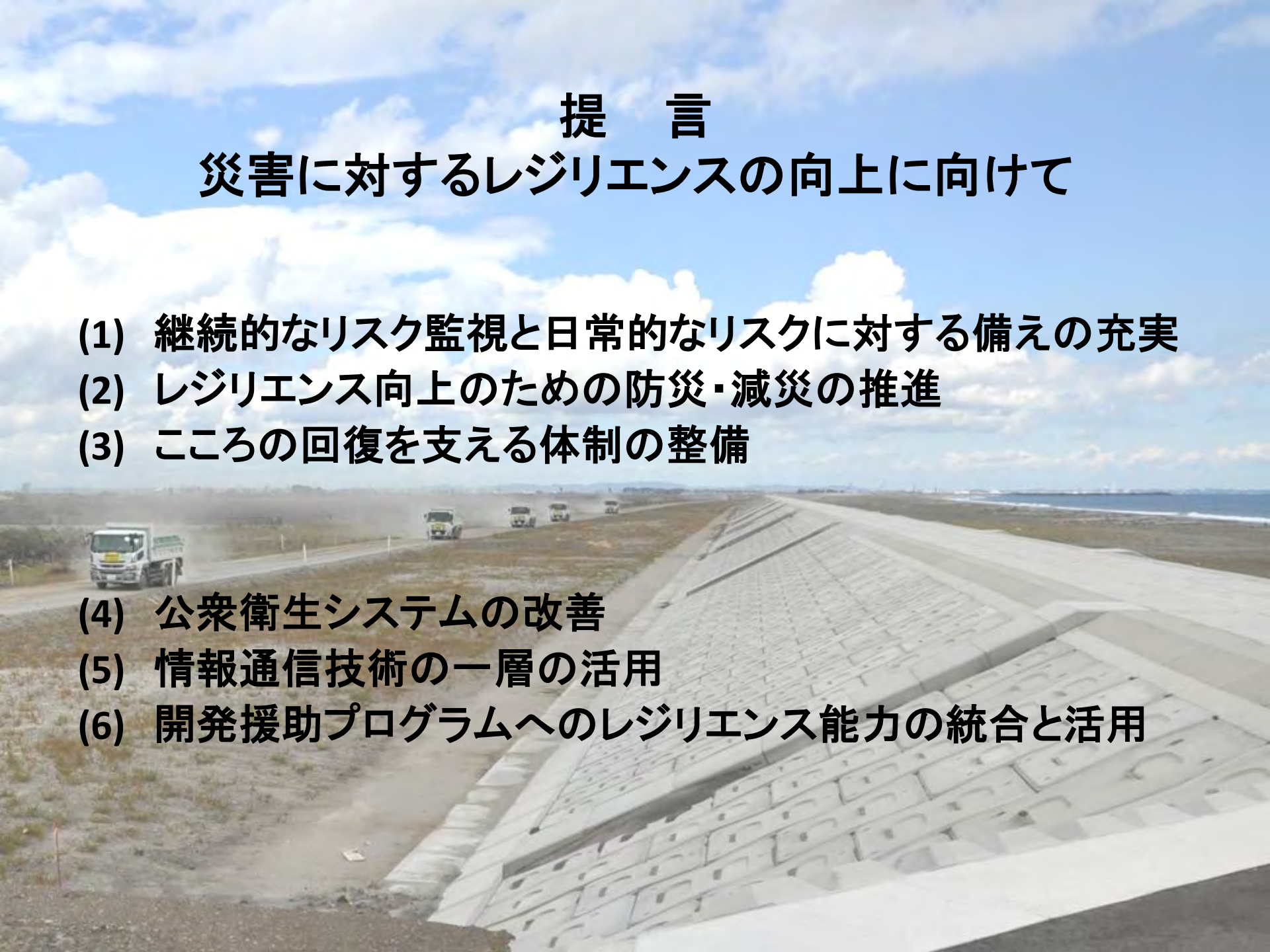
東日本大震災は、堤防の増強や建物の耐震化等のハード面での防災対策の強化にもかかわらず、我が国に災害に対する深刻な脆弱性がなお存在し、その克服にはソフト面や精神面を含む総合的な取り組みが必要であることを如実に示した。想定を超える極端現象に遭遇してもできるだけ平常の営みを損なわない、また被害が避けられない場合でもそれを極力抑え、被害を乗り越え復活する力、即ち「レジリエンス」の向上を図ることが焦眉の急である。社会・経済システムのみならず、人の生活や精神的側面をも含む包括的な観点からその向上を図ることが肝要である。以上の認識のもと、災害に対するレジリエンスの向上に向け、現状と問題点を指摘し、それらを克服するための提言を行う。

なお、この提言は、日本学術会議が国際アカデミーの一員として2012年5月10日に発出した「G8サミットに向けた共同声明」に述べられている課題に対応する構成になっている。この多岐にわたる課題を統合的に審議するため、日本学術会議幹事会は東日本大震災復興支援委員会に、幅広い領域の専門家からなる「災害に対するレジリエンスの構築分科会」を設置した。

提 言

災害に対するレジリエンスの向上に向けて

- (1) 継続的なリスク監視と日常的なリスクに対する備えの充実
- (2) レジリエンス向上のための防災・減災の推進
- (3) こころの回復を支える体制の整備
- (4) 公衆衛生システムの改善
- (5) 情報通信技術の一層の活用
- (6) 開発援助プログラムへのレジリエンス能力の統合と活用



千年希望の丘(岩沼)



千年希望の丘“第1号”完成記念

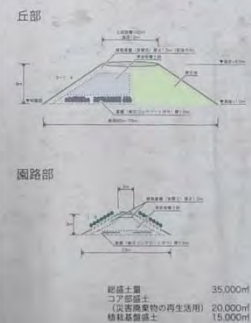
東日本大震災の記憶や教訓を未来へ引き継ぐメモリアル「千年希望の丘」は、千年先まで岩沼市が持続可能なまちであってほしい、千年後の命も守りたい、そのような思いで整備を進めています。

丘には災害廃棄物を再生活用し、津波の力の減衰、避難場所の確保、そして鎮魂など多くの意味が込められています。

このたび、国内外から多くの皆様に寄付や支援をいただき、未来への希望を託した植樹によって第1号の丘が完成しました。復興のシンボルである「千年希望の丘」が、人類の知恵の遺産、そして子ども達の希望となることを期待します。

2013年6月9日
岩沼市長 井口啓明

千年希望の丘(第1号)構造図





海岸防災林の生育基盤盛土をしています。



よみがえ
**駐れ
防災林**

むすび丸



- ◎岩沼地区第一治山工事 工藤・宝森復旧・復興JV
- ◎岩沼地区第二治山工事 株式会社 笹原組
- ◎岩沼地区第三治山工事 北東北復旧・復興JV
- ◎岩沼地区第四治山工事 北東北復旧・復興JV



ゆりあげ
キッチン&ギャラリー

Maple
メイプル館

ゆりあげ港朝市
WELCOME

ゆりあげ港朝市
日曜・祝日 朝6時より10時迄
TEL 022-395-7211

日曜・祭日 6:00~13:00
平日・土曜 10:00~16:00
(毎週木曜定休日)

TEL 022-796-2078

国道6号線沿いの放棄された集落(熊町、東京電力福島第一原子力発電所付近、2014年9月15日開通)



2014.9.15 Himiyama

放棄された東京電力福島第一原子力 発電所付近の水田(双葉町)



2014.9.15 Himiyama

プログラム

レジリエンス向上への公と私の新たな役割

岩田 修一(事業構想大学院大学教授)

レジリエンス向上のための防災・減災分野の適応策

小松 利光(九州大学大学院特命教授・名誉教授)

未来へ残すべきモノのレジリエンス

馬渡 駿介(北海道大学名誉教授)

こころのレジリエンス社会

笠井 清登(東京大学大学院医学系研究科教授)

災害からのレジリエンス—被災者側の視点

仁平 義明(白鷗大学教育学部教授)

公衆衛生システムの改善による地域の災害レジリエンス向上

矢野 栄二(帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授)

リスク情報の多様性・多義性の下でのレジリエンス

岩田 修一(事業構想大学院大学教授)

コミュニティ防災・復活における産学官の役割

西尾チヅル(筑波大学大学院ビジネス科学研究科教授)

プログラム(キャンセル)

(石川教授の以下の講演は、被災地における緊急の重要イベントに教授が参加されるため、キャンセルとなりました)

回復する力:被災者がつくる復興のまち

石川 幹子(中央大学理工学部人間総合理工学科教授)

(ただし予定されていた講演の内容の多くは以下の番組でカバーされています)

2014年9月27日(土) NHKスペシャル

私たちの町が生まれた

集団移転3年半の記録

津波で消えた故郷再びー住宅再建・夫婦の涙